

1. 協働・連携の全体像

1 アンケート等による意見聴取(小学生(4年生以上)、中学生、高校生、大学生を含む幅広い世代からの意見聴取)

項目		概要	実施時期	意見(参加者)数	
1	市民2,000人アンケート	市内在住の16歳以上2,000人(無作為抽出)を対象とした調査	令和5年12月8日～25日	551	
2	市外在住者アンケート	周辺市町村に居住する16歳以上を対象とした調査	令和5年12月8日～22日	318	
3	転入・転出・転居者アンケート	戸籍住民課の窓口で住民異動届の手続きのため来庁した方を対象とした調査	令和5年12月1日 ～令和6年11月30日	転入	1,355
				転出	1,118
				転居	674
				計	3,147
4	小中学生アンケート	市内小中学生(小学4年生～中学3年生)を対象とした調査	令和6年7月11日～19日	4,227	
5	市民ワークショップ	市民が主体となったまちづくりを行うことを目的に開催(参加対象者16歳以上)	令和6年8月24日・25日(対面)、 29日(オンライン)	82	
			合計	8,325	

2 協働・連携による計画策定

項目	概要	実施時期
1	地域まちづくり計画策定会議	市内8地区から「地域が考えるまちづくり計画案」の受領
2	秦野こども未来づくり会議	「秦野こども未来づくり会議が考える未来づくりのアイデア」、 「はだのこども未来づくり宣言」の受領
3	地区別タウンミーティング	計画の素案公表の段階で、市長と市民が直接対話する タウンミーティングを地区別に開催
4	各種団体との意見交換	市内各種団体との意見交換を実施
5	パブリックコメント	素案及び計画案の段階で実施

総合計画はだの2030プラン後期基本計画 協働・連携による主な取組み

2. 市民ワークショップ(1/2)

1 概要

市民との協働・連携により、幅広い世代・分野の意見やアイデアを反映させる計画づくりを行うことを目的に、住民参加型のワークショップを開催し、計82人に御参加いただきました。

<募集方法>

形式	方法
招待状	市内在住の満16歳以上の3,000名を無作為により抽出し、招待状を発送
一般公募	広報はだの7月15日号、市HP及びSNSを通じて公募
学生参加	市内高校・大学及び学生団体E4からの推薦

<開催日時・参加者数等>

日時	開催方法	参加者数(人)			
		招待状	公募	学生	
8月24日(土) 午後2時～4時30分	対面 (教育庁舎3階 大会議室)	32	16	6	10
8月25日(日) 午前10時～午後0時30分		31	14	5	12
8月29日(木) 午後6時30分～9時	オンライン (Zoom)	19	14	2	3
合計		82	44	13	25

<タイムスケジュール>

時間	内容	時間	内容
5分	開会あいさつ、進め方の説明	60分	グループワークⅡ「理想のまちにするためにできることを考えよう」 ① 個人ワーク1(担当トピックに対する強み、弱みの抽出) ② グループ内で発表・共有
20分	情報提供(総合計画の概要／秦野市の現況)	25分	全体共有(グループごとに発表)
35分	グループワークⅠ「秦野市の強み／弱み・課題を見つけよう」 ① 自己紹介 ② 個人ワーク(すべてのトピックに対する強み、弱みの抽出) ③ グループ内で発表・共有	5分	アンケート記入、閉会あいさつ

※ グループは、総合計画前期基本計画に掲げる基本目標1～4の単位(健康・福祉・子育て／教育・文化・スポーツ／環境・農林業・安全安心・上下水道／にぎわい・活力)で設定。

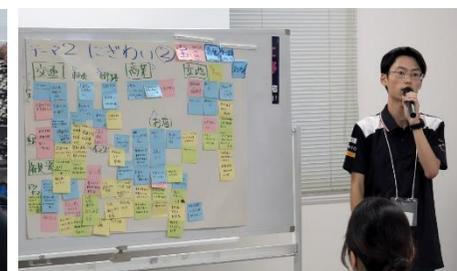
総合計画はだの2030プラン後期基本計画 協働・連携による主な取組み

2. 市民ワークショップ(2/2)

2 意見・アイデア

トピック(基本目標)	意見・アイデア
【基本目標1】 健康・福祉・子育て	<ul style="list-style-type: none"> 健康に対する意識を高められるような情報発信、健康増進事業の充実 子どもから高齢者、障害者など、幅広い世代等が交流できる場所づくり 小児医療、分娩取扱施設の充実 病児保育が可能な保育園の充実 自然が多く、子どもと遊べる場所が多いという強みを生かしたイベント(虫・魚)の実施
【基本目標2】 教育・文化・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 給食費の無償化と地場産食材の活用による安全な食事提供 小・中・高・大学の関わり強化(児童生徒、学生の交流など) 土日、夕方の生涯学習講座の充実による受講機会の拡大 プロスポーツに触れる機会の充実 スポーツ教室やイベントの充実
【基本目標3】 環境・農林業・安全安心・上下水道	<ul style="list-style-type: none"> 都心部に住む人が家庭菜園や農業を体験できる機会の充実 防犯パトロールや街灯の整備などによる治安の維持 名水の利活用(酒、そば、豆腐など)、湧水地へのアクセス強化 水無川の定期清掃
【基本目標4】 にぎわい・活力	<ul style="list-style-type: none"> 大学生が中心となれるようなイベントの開催(大学があるメリットを生かす) 名産品、観光施設の充実による観光客の誘客 コミュニティバスなど移動手段の充実、交通インフラの偏りの解消 「ドライブにちょうどいいまち」としてのドライブコースの発信 若い世代を対象にしたイベントの実施(出会いのイベントなど) 駅周辺のにぎわいづくり(飲食店の充実、若者が楽しめる遊戯施設(ボウリング場など)の誘致等) コワーキングスペースやリモートワーク拠点の整備 大型商業施設の誘致 はだの桜みちを活用したイベントの開催

<ワークショップの様子>



3. 地域まちづくり計画策定会議

1 概要

地域の目指すまちの姿を掲げ、市民一人ひとりが地域に愛着を持ち、地域の個性や魅力を生かしたまちづくりを市民と行政が協働・連携して進めるための指針となる「地域まちづくり計画」を策定するため、市内8地区に、地区まちづくり委員会を中心とした「地域まちづくり計画策定会議」を設置し、「地域が考えるまちづくり計画案」を作成していただきました。

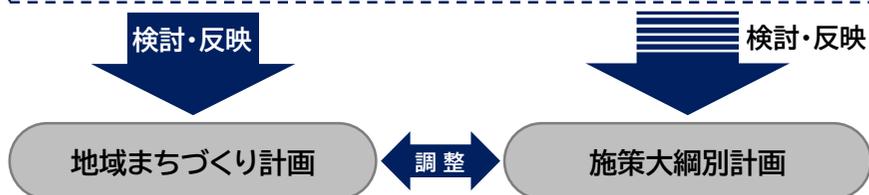
本計画案は、本年3月17日(月)に各地区から市長に御提出いただきました。

2 計画案の検討

- ◆ 「地域まちづくり計画策定会議」において検討(各地区3~4回開催)
- ◆ 総合政策課職員を各地区に2名配置し、計画案の作成を全面的にサポート
- ◆ 令和3年度から配置されている地域まちづくりコーディネーターとも連携
- ◆ 市内中学校及び高校の生徒をはじめ、学生団体E4、東海大学及び上智大学短期大学の学生など、全8地区で若者が参加

3 提案いただいた事項

- ① 地域の暮らしの中で感じている現状と課題
- ② 目指すまちの姿(令和12年度の将来像や基本目標)
- ③ 地域版リーディングプロジェクト
- ④ 主な取組み・すすめる活動
 - 「地域・市民が主体となって取り組むもの」
 - 「地域と行政が協働・連携して取り組むもの」



<策定会議の様子>



<各地区から市長への計画案の提出>



4. 秦野子ども未来づくり会議

1 概要

総合計画後期基本計画策定における新たな取組みのひとつとして、こどもの声を計画策定の参考とするため、教育委員会の協力のもと、市内小中学校の小学4年生から中学3年生を対象に、まちづくりに関するアンケート調査を実施し、4,227人から回答をいただきました。

また、教育委員会が主催する「秦野子ども未来づくり会議」において、中学校区ごとに、このアンケート結果を踏まえた「未来づくりのアイデア」を作成していただきました。「未来づくりのアイデア」は、本年3月27日(木)に市長に御提出いただきました。

2 アイデアの検討(秦野子ども未来づくり会議)

- ◆ 全3回の会議で、グループワーク等により中学校区ごとに「未来づくりのアイデア」を検討
- ◆ 検討経過の中で、総合政策課から、まちづくりに関するアンケート結果を報告
- ◆ 第3回(はだのっ子未来づくりフォーラム)では、市長と代表児童生徒によるパネルディスカッションを実施

3 中学校区ごとの未来づくりのアイデアに係るテーマ

中学校区	テーマ
本町	秦野の魅力をたっぷり詰め込んだレジャー施設
南	一日中遊べるまちin秦野
東	人と関わる未来の秦野
北	私たちが描く秦野の未来
大根	学校の環境
西	住みやすいまち
南が丘	人口と暑さ対策
渋沢	楽しく学べる場所を作って優しい気持ちを育もう
鶴巻	小・中・地域とのつながりの輪

<未来づくり会議の様子>



<秦野子ども未来づくり会議から市長への「未来づくりのアイデア」等の提出>

